

一 マクイシヤシを妻子有之哉

一 妻之名をポーシントンと申ウエレントン島出生ニ而女子

壹人有之メンキタと呼申候

一 各國鯨獵船本島に渡來候事一ヶ年何艘位ニ候哉

一 初度之頃者三四十艘入津仕候事も有之候得共四五年

來者漸く三五艘來船仕候位ニ御座候千八百二十七年

ニハ英國甲比丹渡來いゝ十八年前英國軍艦渡來軍

卒之内十四人本島に相逃レ住居いゝ候者有之又十

二年前ニも二本柱之軍艦渡來前後私渡來已後英國軍

艦ハ三度來船仕候

一 其許最初相越候節ハ本島ニ別段住民も無之候哉

一 全く無人島ニて私より草創仕候事ニ御座候

右ニ而畢ル

酉十二月二十八日於大村セイボレ、ジョーシに對話書

一 セイボレ病氣之趣如何ニ候哉

一 昨夜より俄ニ足痛甚敷殆んど當惑仕候

一 歩行ニ不都合ニ可有之候

一 今朝者餘程痛繁相覺候得共歩行致し候ニハ左程差支

も無御座候

一 奥村飯小屋ニ醫師罷在候間歸宅之上療治受可申候

一 今朝療治受候間夫故少く快方ニ御座候

一 昨日奥村に罷越候節可申談處セイボレのみふて其余の者

不居合ニ付今日呼集め候上申談候事ニてドルラルニ而者

追々買物等致し候ニ差支候間以來此方貨幣ニて買受候ニ付右見本相渡置候間左様可心得候

一承知仕候

一右貨幣者大小數多有之候間巨細書付ニ致しドルヲルの價記置候間一覽之上會得可致尤日本貨幣ニ而ハ外國船より品物等買受候ニ不都合ニ可有之候間其節者此方ニ而ドルヲルふ引替可遣候

一一家を構居候者々者銘々相渡可申候三ヶ村ニ而幾軒有之候哉

一八軒ニ御座候

- 貳分金壹枚 一ドルヲル 壹分銀貳枚 同 貳朱金四枚 同
- 壹朱銀八枚 一ドルヲル 百文錢三十枚 同 鐵錢三千枚 同

右之通書付ニ致し貨幣相添奥村住居之セイボレシヤコ兩人大村住居之シヨシホーツン、シヨシウイルレム、シヨ

シヨシホーツンを差して

一シヨシホーツンを差して

一七十八歳ニ御座候

一何れより渡來致し候哉

一千八百五十三年コモドルヘルリ渡來之節此所ニ相

残り申候

一其已前者何處ニ罷在候哉

一合衆國海軍ニ十四年相勤罷在候

一何の爲ふ當島ニ殘泊候哉病氣等之爲ニ候哉

- 一 全く病氣之爲ニ御座候
- 一 米國軍艦ふて何役を相勤居候哉
- 一 最初水夫小頭相勤其後米國より日本迄一航海之間水夫ニ相成其餘者船中小役人相勤申候
- 一 本國ニ妻子有之候哉
- 一 無御座候
- 一 相殘候節者壹人のみニ候哉
- 一 仰之通ニ候
- 一 グレ何歳ニ相成候哉
- 一 二十七歳ニ御座候
- 一 此島ニて出生致し候哉
- 一 左様ニ御座候

- 一 妻ハ有之候哉
- 一 有之候
- 一 名を何と申候哉
- 一 トキンと唱申候
- 一 何島より罷越候哉
- 一 ウイレンタンと申島ニ御座候
- 一 何れノ方向ニ候哉
- 一 赤道直下より北緯四度ニ御座候
- 一 何國ノ所領ニ候哉
- 一 何國ノ所領とも定り不申候
- 一 いつ頃渡來しぬ候哉
- 一 一千八百五十五年婦人三人一同ニ渡來仕候

一其餘之兩人ハ如何いふ候哉

一壹人ヲシヨ―シウイレムノ妻ニ相成壹人ハ米國鯨獵

船マギントシカッタヨ乗組立去申候

一いつ頃の事ニ候哉

一千八百五十九年ニ御座候

一ゲレレ小兒何人有之候哉

一三男一女有之候

一ブラボ―レ何れより相越―且何歳ニ相成候哉

一葡萄牙領ケイフワダ島より罷越―四十八歳ニ御座

候

一妻ハ有之候哉

一妻は三乙島出生之者よてメレレと相唱四十五歳ニ御座

候

一いつ頃渡來候哉

一千八百三十二年五人にて罷越候

一五人之内四人は如何いた―候哉

一兩人は死去致―壹人はカレンレの妻ニ相成壹人者立去

申候

一立去候ハいつ頃之事ニ候哉

一十ヶ年以前英領シス子之商船乗組ギ―ア―ム島に相

越申候

一ガレンレ之妻は何と申候哉

一三乙島ふてベチセレと唱申候

一小兒有之候哉

一 無御座候

一 カレンは何國之者ふていつ頃罷越候哉

一 英人ニ而千八百三十二年相越申候

一 壹人ニ而相越候哉

一 プラボ | 同船ニ御座候

一 何歳ニ候哉

一 五十三歳ニ御座候

一 ウイレム之妻ハ何と申候哉

一 矢張メレと相唱二十一歳ニ御座候

一 右之者共尽く此村ニ住居候哉

一 左様ニ御座候

一 ペバンは何村ニ住居候哉

一 此村ニ住居致居モレシと申者同居致居候

一 兩人共何時頃渡來致候哉

一 ペバンはカナカヲテハイテ島出生之者にて四十五歳

ニ相成候千八百四十八年モレシは千八百五十四年セ

イボレの妻と同船以たり罷越候右之外カナカ人チャ

ルス並ト | ムデウエスはゲレ | ふ屬 | シヨセフはウ

イレムに屬 | 居都合五人ニ御座候

一 昨日もセイボレハ申談候如く百五十年程已前此方役人當

島巡見之節此村を大村セイボレ住居之村ハ奥村ウエフ之

村ハ洲崎村と名付置候義ニ付已來左様可相心得候

一 幸ひ三ヶ村共無名ニ御座候間已來左様相心得候様可

仕候

此時村名書付ニ以テセイボレに相渡

一前相渡置候日本貨幣ハ全此島限通用辨利之爲相渡候義ニ付渡來之外國船に相渡候義決而難相成何れも右等之趣規則取極可置候得共右者只今貨幣相渡候ニ付先ツ心得迄ニ申談候

一承知仕候

一是より銘々切開候地所巡見可致候間夫々持場ニ標木可相立候

一御案内可仕

一米國一ドルヲルハ日本ニ而何程の通用仕候哉  
一貳分少々ニ相當尤日々相場相變候間一定の價ハ無之候間當島限此方ニ而二分ニ相定候

一セイボレ外ニ御用無之候ハ、歸宅仕度候

一地所見分致し候ニセイボレ不罷在而差支無之候ハ、歸宅致候而も不苦候

一少々所持地も相起居候

一左様ニ候ハ、後刻見分可致候間其上ニ而歸宅致し候方都合可宜敷候

一カナカ人壹人相雇賃銀一日何程ニ候哉

一一ドルヲルふ御座候

一一日之食料何程ニ候哉

一相雇候方ニ而食事取賄候間一ドルヲルふ御座候

一セイボレよりベルリへ賣渡候地所ハ奥村之内ニ候哉

一此程御船水夫入湯致し候近傍並海岸通ニ御座候

一何程ニ而賣拂候哉

一此方より直段不申立彼方存寄次第差遣候様申立候處

五十ドルヲル相拂申候

右ニ而畢ル

海軍歴史卷之十

